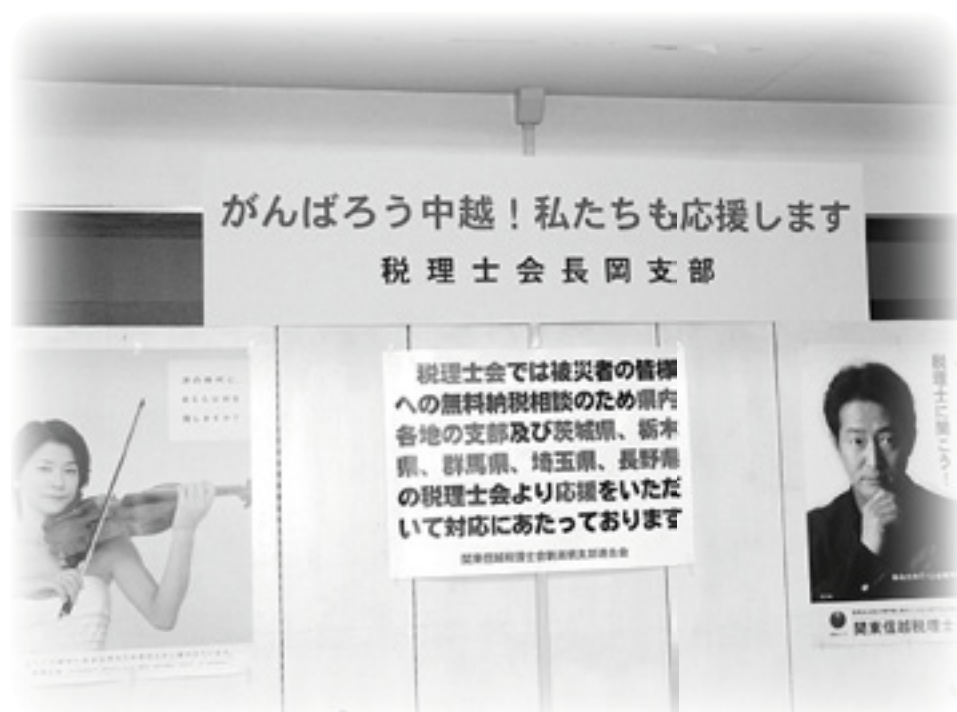


災害に対する取り組み



7・13水害と新潟県中越地震への対応



第20代県連会長

土 田 幸 雄

はじめに

平成16年度は、7月13日の新潟・福島豪雨、8月15日の佐渡、下越地方を襲った台風15号、10月23日の新潟県中越地震、明けて1月から2月にかけての19年ぶりの豪雪というおまけまでつくという稀れに見る気象災害の多い年だった。

7・13水害は、7月1か月間平年降雨量の2倍量が1日に降るといふ、新潟県では33年ぶりの記録的な集中豪雨で、決壊した五十嵐川、刈谷田川堤防流域の三条市と中之島町（現在長岡市）を中心に床上浸水1,882棟、床下浸水6,197棟、それに伴う全壊、半壊、一部損壊5,810棟という住宅被害のほか、死者15人、重軽傷者82人という惨憺たる被害を蒙った。

また、新潟県中越地震は、死者68人、重軽傷者4,795人の人的被害と、全半壊16,983棟を含む住家被害は120,837棟、129,302世帯におよび、被災直後は10万人を超える人達が避難所生活を余儀なくされ、13市町村63カ所に建てられた仮設住宅には最大時1万人近くが生活せざるを得なかったなど、新潟県が「新潟県中越大震災」と呼称する未曾有の大被害をもたらした。

7・13水害では三条支部会員で床上浸水18名（会員数の約22%）、新潟県中越地震では、長岡、三条、柏崎、小千谷、十日町の5支部で建物全壊3名、大規模半壊1名、半壊22名、一部損壊130名、計156名（会員数の約60%）と多くの会員が多大な被害を蒙ったが、いずれも大きな人身被害のなかったことが不幸中の幸いであった。

税理士会では、これら被災会員への救援活動もさることながら、国民の適正な納税義務履行のため、「税務代理」、「税務書類の作成」、「税務相談」は税理士でなければできないとされている税理士に課せられた社会・公共的使命から、例年、確定申告期を中心に税理士会員の義務として一般納税者に対して行っている税務支援を、本年はこのたびの災害で被災された多数の納税者に対する税金の減免措置適用について、総力を挙げての親身な税務相談と税務指導に当らなければならないという観点から次のように対応した。

（注1）「7月13日から大雨による被害状況について（最終）」

新潟県災害対策本部（平成17年3月23日16:30現在）

（注2）「平成16年新潟県中越大震災による被害状況について（第172報）」

新潟県中越大震災災害対策本部（平成19年8月23日現在）

《フリーダイヤルによる電話相談について》

7・13水害については8月2日～4日、新潟県中越地震については12月6日～8日まで、それぞれ3本のフリーダイヤルを県連事務局に設置し、新潟支部会員が従事して実施した。

《被災地支部に対する支部間応援について》

7・13水害直後に新潟支部に対して非公式に三条支部に対する確定申告期における税務援助の応援を依頼していたが、中越地震の発生により正副会長会で被災地支部に対する支部間応援実施を正式に決め、16年12月10日の県連理事会に提案、満場一致で可決された。この理事会では村上、糸魚川など会員数の少ない小支部からも力強い応援の具体的提案のあったことが強く印象にあり、先輩が築かれた県連のチームワークの良さを改めて実感したことを付記しておきたい。

確定申告期には、長岡、三条、小千谷、柏崎、十日町の被災地5支部に県内他支部から計311名、県外支部から104名の応援のほか、被災地支部でも283人日の上積従事もあって、豪雪による交通途絶等のハプニングはあったものの相談被災者からの礼状も寄せられるなど初期の目的が達成された。

《資産損失額算定のための簡易計算特例の要望について》

被災した住宅や家財の損失額は、所得税法で被災直前の時価から被災直後の時価を控除して算定することとされているが、新築家屋や購入家屋ならいざしらず、被災家屋の大半は古い建築で取得価額不明のケースが多く、ましてや家財については被災という混乱の中で取得価額、取得年月等を逐一調べることは事実上不可能に近いことから、これらの損失額算定に当たっては阪神淡路大震災時に適用されたと同様の簡易計算が行えるよう7・13水害直後から税務署、国税局に強く要望してきた。

当局では実務処理の観点から、新潟・福島豪雨及び新潟県中越地震に適用する「損失額の合理的な算定方式」を12月に公表し、これが確定申告書作成に際しての被災者の事務負担を大幅に軽減し、被災地における確定申告期の税務相談がスムーズに行われた大きな要因となった。

《災害に対する質疑応答集作成について》

災害による損害の雑損控除についての実務経験が乏しい現状から、会員向け質疑応答集の作成が急務と判断し、各支部に現地で想定される質疑の提出を求め県連でQ&Aの作成に取り掛かったところ、後記のように質疑応答集は本会で作成することとなったので、作成済みのQ&Aを含め各種資料を本会に送付した。

なお、地方税関係については、新潟県総務部税務課から減免措置の詳細についての資料提供を受けるとともに、県連作成地方税関係Q&Aについての手直しなどにも多大なご協力を頂き、また、被災家屋の固定資産税減免関係等についての資料については長岡市資産税課からもご協力頂

いた。

《本会における「新潟県災害対策特別委員会」の活動について》

本会では峯村会長の指示により、「被災支部応援企画」と「会員業務支援用の税務相談マニュアル質疑応答集作成」のため「新潟県災害対策特別委員会」が設置され、次のような活動が行われた。

(1) 「新潟県災害に係る質疑応答集」の作成

国税局各担当部署の全面的なご協力、ご指導のもとに125頁にわたる「新潟県災害に係る質疑応答集」を作成、会員に配布、被災者の税務相談に活用された。

なお、この資料集作成に当っては近畿税理士会で作成した「阪神・淡路大震災に係る所得税関係質疑応答集等」及び神戸支部ホームページ「災害にかかる税務」からの活用について近畿税理士会の了承を得たことを付記しておく。

(2) 被災地支部への県外応援者の研修

県外からの応援者を中心に、上記資料集、ならびに計算例に基づいた実践的な研修が行われた。

(3) 被災地支部への応援

確定申告期には被災地支部に対し、茨城、栃木、群馬、埼玉、長野の各県連から104名の応援が行われ、相談に訪れた被災者から感謝の声も聞かれた。

《税務当局と一体となった被災者への納税相談について》

納税者に対する指導、相談と的確な課税の実現は税務当局本来の職務であって、今次の災害に対しての税務当局の的確、迅速、かつ、きめ細かな対応に敬意を表するところである。

税理士会としては、このたびの災害の被害状況からみると、被災者から雑損控除の申告、あるいは、事業所得者、不動産所得者の資産損失の扱い等で多数の納税者からの相談が予測され、相談会場の混雑も危惧されたので、計画段階から実施段階に至るまで例年以上に税務当局との連絡協調に配意した結果、災害支援という初めてのことにもかかわらず税務支援事業がスムーズに終了することができた。

これは、「新潟県災害に係る質疑応答集」(注)の作成をはじめ、すべての面にわたっての税務当局のきめ細かなご指導とご協力の賜物であることに改めて感謝申し上げる次第である。

このたびの未曾有の災害を蒙った膨大な被災納税者に対する税務支援を優先しなければならないという職業倫理感からの危機意識と、被災納税者に対する確定申告相談の的確な対応という税務当局の考えが、立場こそ違え申告納税制度を支えるという至上命題で一致しているからこそその

協調関係の一体化だったのではなかろうか。

（注）国税局では同じ内容のものを「雑損控除関係研修資料」として職員に配布。

また、この資料集は昨平成19年7月16日発生、新潟県中越沖地震についての納税相談に当たっても、損失額の合理的な算定方式で使用する「地域別・構造別工事費用表（1㎡当たり）」の数字が変更されたのみで活用された。

なお、平成16年分確定申告終了直後に発刊された会報（平成17年5月15日会報創刊第600号）で当時の藤塚明関東信越国税局長が「会報600号に寄せて」として次のように述べておられることを紹介しておく。

「…（前略）…連年増加する確定申告件数の中で、本年はさらに新潟県を襲った大水害・大地震で被災した納税者の方々にどう的確に対応していくかが大きな課題でありました。こうした状況下、貴会は、私どもの施策の方向性をご理解いただき、確定申告期の無料相談、会員事務所における無料還付相談等の税務援助事業で多大なご支援をいただきました。特に、新潟県の水害・地震災害につきましては、はじめて支部間の応援、しかも新潟県内のみならず関東信越全ての県からの応援が行われました。被災された納税者の状況を踏まえた皆様の的確なご対応は、私どもの方にも「県外からも税理士さんに来ていただきとても感謝している」、「親切に相談してもらいありがたかった」など、賛辞の声が多数寄せられました。貴会のこのような積極的なご対応は、何よりも国民・納税者の心をとらえ、税理士に対する強い信頼感の醸成につながったものと思います。…（後略）…」

《7・13水害と新潟県中越地震に対する援助への御礼》

7・13水害と新潟県中越地震に対し、全国の多数の会員から、そして税理士会各組織、税理士会関連各組織から義援金やお見舞い、激励等々、物心両面にわたり心温まるご支援を頂いたことに当時の県連会長として改めて感謝申し上げます。

なお、末筆ながら新潟県中越地震に対する県連会員からの義援金の一部を新潟県災害対策本部に寄附させていただいたことを付記しておきます。

中越水害・地震への対応



第22代県連会長

水 島 敏

今思い出しても大変なことが起こりました。自然災害とは言え、被災地の皆さんの精神的・肉体的なダメージは勿論の事、財産等の損失その他色々な被害を考えると胸が痛みます。私達税理士の会員のことだけを考えても、気持ちが減入ります。

行政側への支援を含めて被災者（納税者）に対して私達がお役に立つことは、義援金の拠出も大事なことですが、税理士・税理士会としては税務援助という事になります。税務援助の中でも災害による雑損控除が対象です。その事につきましては県連として、積極な対応が必要なことは当然であります。又、全国の税理士会員等から頂いた心温まる義援金の使い方も慎重に執行しなければなりません。

(1) 税務援助につきましては、

平成16年分は支部間応援として実施し、十分な成果をあげました。ただ私としては応援する支部と、される側の支部との意識の差が少し有ったことが気になり、平成17年分については、支部間応援という方式をやめて、「県連の事業」として全員参加型を全面に打ち出して、県下13支部全体で対応する事に致しました。

平成17年分を「県連の事業」として行う事は、県連で協議を行い承認をも得まして、平成18年1月11日の関東信越国税局と関東信越税理士会との協議会で、その旨を発表致しました。少々手前みそになりますが、当時の国税局長より、的を得たやり方とのお褒めの言葉を頂きました。同年6月23日の関東信越税理士会定期総会において、平成16年分・17年分の被災地への災害による雑損控除の税務援助に対しての、国税局長の「感謝状」を新潟県支部連合会として頂きました。そのことは7月19日の県連定期総会で発表しました通りです。これも県連の事業として、全支部・全会員が御協力をして下さった事によるものと感謝しています。

(2) 義援金の使い方、

義援金につきましては、誰も予想をしていた訳ではありませんが、各地域税理士会を始め支部・税協・国保そのほか沢山の団体や個人会員の方々より、本当に多額の義援金・お見舞金を頂戴致しました。

この義援金につきましては、一般会計と区分し特別会計を設けました。その使い方というか配分方法を協議するための、「義援金配分委員会」（土田県連会長、専務理事2名、総務部長、経理部長、県税協専務理事、被災支部長5名）を設置し、委員会で慎重に検討しました結果、平成17年3月に（イ）被災会員には新潟県の配分基準をみならって見舞金を、（ロ）5被災支部に交付金を（ハ）関東信越税理士会名で新潟県災害対策本部へ義援金を支出致しました。少し残高が残りましたが一応処理は終了致しました。しかしその後も引き続き義援金等を各地・各団体から多額に頂きましたので、特別会計の残高も多額になりました。以上までが土田県連会長の年度でしたので、義援金の処理もスムーズに推移しました。

私の年度になってから、特別会計の残高の処理について正副会等で何回も議題に載りました。私は当初予定していた処理が終わりましたし、残高も結果として多額になったので、少し時間をかけ良く検討した方がよいとの表向きの理由を付けて、先延ばしをするつもりでした（正直に言いますと、私の年度では場合によっては処理を見送るか？とも思っていました）。しかし、事は上手く進みませんでした。平成18年1月のある日、突然に当時の副会長・専務理事など数名の人に拉致監禁されまして、何時までもこのままにしておかないで、その処理は早い方が良いのではと、入れ替わりに脅迫とは言いませんが、意見をされました。私は最初のうちは、のらりくらりとして明確な考えを示しませんでした。そんな中でお一人が、皆さんの善意のお金は税理士・税理士会のために「活きたお金」として、有効利用を早く行った方が良いのではとの意見を言われました。私はその「活きたお金」の有効利用をとの意見に反論できず了承しました。

早速正副会・常務理事会・理事会を開催し、質疑を行った後その承認を得て、再度配分を行う事に致しました。先ず前年の配分等を参考にし、又、この度の支援事業につきましては、各支部の人的支援及び資金面でも御無理をお掛け致しましたので、その点も考慮しまして、その年の3月に各支部に配分額の送金を行いました。義援金の使途については、県連で一切指示することなく各支部に全面的に一任をしました。この事も7月19日の定期総会で報告をしました通りです。

災害に対する支援活動につきましては、個人でボランティア活動を行った会員も大勢いましたことも聞いています。この事もまた大変重要なことで感心をしています。私達の出来る支援活動は本当に善意の範囲を出ませんが、やはり組織・団体として活動を行うことで、行政当局は勿論、被災した納税者のお役に立てたものと思っています。この事もまた全支部・全会員のご協力の賜物と感謝しております。この文章を書いている時も当然ですが、普段でも時々支援活動を行ったことを思い出しては、自己？満足をしています。

被災された方々の一日も早い完全復旧を心よりお祈りしまして終わりと致します。

各災害の被害状況

平成16年7月新潟・福島豪雨の被害状況

○ 被害総数

新潟県災害対策本部
平成17年3月23日14:30現在

区分	人的被害（人）				住家被害										非住家被害		その他被害			
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊 (流出含)		半壊		一部損壊		床上浸水		床下浸水		公共施設+ その他		道路	河川	崖崩れ等	その他備考
単位	人	人	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟		箇所			
新潟県計 (16市32町17村)	15	0	2	80	71	70	5,657	5,893	82	82	1,882	1,881	6,197	6,245	7,189		2,798	1,042	1,904	

○ 各市町村別の被害

区分 市町村名	人的被害（人）				住家被害										非住家被害		その他被害			
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊 (流出含)		半壊		一部損壊		床上浸水		床下浸水		公共施設	その他	道路	河川	崖崩れ等	その他備考
単位	人	人	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟	箇所	箇所			
新潟市													18	16		13				
長岡市					5	5	5	5	3	3	129	129	920	920	10	666	158	12	240	
三条市	9		1	79	1	1	5,281	5,517			487	487	1,431	1,431	28	3,121	19	3	34	
柏崎市				1	1	1			4	4	14	14	159	159	3	223	97	55	66	
新発田市																	5	3	1	
小千谷市											2	2	262	281	2	32	199	96	2	
加茂市													11	11		1	87	47	5	
十日町市																1	87	3	2	
見附市							1	1	2	2	880	880	1,153	1,148	8	1,776	60	5	14	
村上市													27	27		1	6	13	4	
燕市											1	1	8	10	1	3	9			
栃尾市	1				3	3	2	2	6	6	72	72	436	444	5	259	378	196	123	
五泉市											3	3	7	7		10	5		2	
白根市																4				
上越市													1	1			12	2	16	
佐渡市													3	2		7	11	1	3	
黒川村													1	1				1	3	
小須戸町													8	8		4		1	2	
村松町											1	1	36	36		21	1	8	7	
弥彦村													4	4					4	
分水町											1	1	11	11		18	10	12	17	
吉田町											1	1	6	6				5		
田上町											1	1	14	14		41	38	14		
下田村							2	2			8	8	109	109		108	289	97	23	
栄町							1	1			18	18	110	110	2	230	14	7	28	
中之島町	3				56	56	335	335			99	99	254	251	3	102	35			
津川町	1										7	7	33	33	3	18	17	3		
鹿瀬町													1	1		5	17		1	

区分 市町村名	人的被害（人）				住家被害										非住家被害		その他被害				
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊 (流出含)		半壊		一部損壊		床上浸水		床下浸水		公共施設	その他	道路	河川	崖崩れ等	その他備考	
単位	人	人	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟	箇所	箇所				
上川村													1	1		1	36	15	178		
三川村											23	23	50	50	4	6	28				
越路町													2	2		3	15	7			
三島町							18	18			40	40	142	142	5	205	86	38	7		
与板町							1	1	7	7	9	9	429	429		1	21		198		
和島村					1	1	8	8	23	23	68	68	196	196		19	94	14	170		
出雲崎町	1				4	3			27	26	6	5	44	44		40	177	34	317		
寺泊町									7	7			21	21		21	53		97		
山古志村															1		13	4	4		
川口町											2	2	18	18	1	12					
堀之内町													27	27		1	36	32	50		
小出町							1	1					14	14		2					
湯之谷村													1	1			28	13	11		
広神村													15	15		11	87	44	35		
守門村											1	1	15	15			28	6	22		
入広瀬村															1	2	30	1	2		
塩沢町													5	5		1	6	33	10		
六日町													26	56		2			9		
大和町													13	13		1	14	8	1		
川西町											1	1	5	5		5					
中里村																	4	13			
高柳町											1	1	11	11			94	26			
小国町											1	1	40	40	1	20	206	63	60		
西山町			1				2	2	2	2	2	2	26	26	2	15	20	12	42		
安塚町																			3		
浦川原村													8	8			4		1		
松代町																	22		2		
大島村													2	2		2	16	19			
柿崎町																	4	1	10		
大潟町													1	1							
吉川町											2	2	11	11		3	15		18		
能生町									1	2			3	3		2		3			
関川村											1	1	27	27	3	7	50	42	49		
荒川町											1	1	8	8		34	4	4	2		
神林村													12	12		26	38	19	9		
朝日村													1	1			14	6			
山北町																	1	1			

(新潟県ホームページより)

平成16年10月新潟県中越地震の被害状況

平成16年10月23日から発生した中越大地震による被害情報について、市町村等から報告のあったものを取りまとめましたのでお知らせします。

人的被害は死者68人、重軽傷者4,795人。住家被害は120,837棟、129,302世帯です。

新潟県中越大地震災害対策本部
平成19年8月23日現在

○ 被害総数

区分	人的被害（人）				住家被害								非住家被害	
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		被害認定 進捗状況	公共施設＋ その他
単位	人	人	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯		棟
新潟県計 (16市13町村)	68	0	632	4,163	3,175	3,138	2,166	2,152	11,642	11,934	103,854	112,078	－	40,406

○ 各市町村別の被害

区分	人的被害（人）				住家被害									被害認定 進捗状況	非住家被害 公共施設＋ その他 棟
	死者	行方 不明	重傷	軽傷	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊				
単位	人	人	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	
長岡市	12		257	1,851	927	927	918	918	4,955	5,051	42,659	48,932	100%	11,265	
長岡市 中之島町			5	13			2	2	24	24	2,573	2,613	100%	980	
長岡市 越路町	3		5	88	152	152	129	128	705	706	2,662	2,766	100%	2,690	
長岡市 三島町			2	6	3	3			25	25	1,677	1,677	100%	129	
長岡市 山古志村	5		12	13	339	285	74	56	223	234	111	106	100%	828	
長岡市 小国町	1		1	23	125	125	124	124	520	518	1,173	1,214	100%	1,596	
見附市	3		49	465	52	52	18	18	515	525	9,332	9,422	100%	10,427	
長岡市 枳殻町	1		14	78	45	45	60	60	240	240	5,776	5,774	100%	922	
長岡市 与板町				4			1	2	5	5	995	986	100%	43	
長岡市 和島村			2	1							305	300	100%	163	
出雲崎町			1						7	7	100	100	100%	48	
小千谷市	19		120	665	622	635	370	371	2,384	2,465	7,516	8,995	100%	5,127	
川口町	6		38	24	606	609	146	146	344	397	297	449	100%	1,460	
魚沼市 堀之内町	1		10	138	56	56	39	39	220	220	1,387	1,387	100%	650	
魚沼市 小出町	1		5	69	1	1	1	1	18	18	874	874	100%	21	
魚沼市 湯之谷村	2		1	21							289	289	100%	9	
魚沼市 広神村	1		3	45	12	12	12	12	64	64	1,080	1,080	100%	229	
魚沼市 守門村			2	19	6	6	5	5	28	28	575	575	100%	14	
魚沼市 入広瀬村			1	2			1	1	4	4	119	119	100%	25	
南魚沼市 六日町			1	14	3	3			1	1	846	846	100%	89	
南魚沼市 大沼町	1		5	1	4	4			3	3	817	817	100%	40	
南魚沼市 塩沢町			4	1							707	707	100%	161	
十日町市	8		5	502	100	100	150	150	869	877	11,075	11,075	100%	154	
十日町市 川西町	1		14	11	5	5	6	6	81	81	1,559	1,559	100%	533	
十日町市 中里村			1	8					9	9	659	659	100%	15	
十日町市 松代町				1					3	3	350	350	100%	21	

区分	人的被害（人）				住家被害										非住家被害
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		被害認定 進捗状況	公共施設＋ その他 棟	
単位	人	人	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯			
十日町市 旧松之山町					2	2					90	90	100%	2	
津南町			3	10					1	1	233	233	100%	48	
柏崎市			12	53	27	27	58	58	235	264	4,586	4,610	100%	1,063	
柏崎高柳市町							2	2	1	1	268	268	100%	29	
柏崎西山市町			1	6	11	11	11	11	23	23	658	658	100%	174	
刈羽村			3	5	67	68	25	28	99	102	786	829	100%	784	
燕分水市町				2	8	8	9	9	15	15	87	87	100%	72	
三条市				8							301	301	100%	32	
三条栄市町			3				1	1	7	8	517	517	100%	252	
三条下田市村											19	19	100%	3	
加茂市			1	3			2	2	2	2	127	127	100%	5	
長岡寺泊市町			1				2	2	12	13	586	586	100%	178	
新潟潟市				4									100%	0	
新潟白根市市											1	1	100%	0	
新潟潟新津市市				1									100%	0	
新潟潟小須戸市町											1	1	100%	4	
新潟潟横越市町				1									100%	0	
新潟潟亀田市町				1									100%	0	
新発田市													100%	0	
燕市	1			1	2	2					54	54	100%	33	
妙新高井市市													100%	2	
妙高高原市町 旧妙高高原町				1									100%	1	
佐渡市													100%	2	
弥彦村													100%	0	
燕吉田市町	1										2	2	100%	25	
新潟潟巻市町				1									100%	3	
阿賀津川町町													100%	1	
塩沢町町	1				1								100%	1	
上越市				1							10	10	100%	27	
上越安塚市町											8	8	100%	6	
上越浦川原市村				1									100%	0	
上越大島市村													100%	7	
上越牧市村											1	1	100%	1	
上越柿崎市町											2	2	100%	2	
上越清里市村													100%	9	
上越三和市村											4	4	100%	0	

※ 被災者については、被災地別で計上。（例：A町の住民が、B町において被災及び発症した場合、B町における被害とする）
（新潟県ホームページより）

平成19年7月新潟県中越沖地震の被害状況

新潟県中越沖地震による被害情報について、市町村等から報告のあったものを取りまとめましたのでお知らせします。
住家被害の合計は42,468棟です。

○ 被害総数

新潟県災害対策本部
平成20年7月15日 15:00現在

区分	人的被害（人）			住家被害								被害認定 進捗状況	公共施設 +その他
	死者	行方 不明	重軽傷者	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊			
単位	人	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯		棟
新 潟 県 計	15	0	2,316	1,330	1,333	856	856	4,832	4,840	35,450	35,497	－	31,340

○ 各市町村別の被害

区分 	人的被害（人）			住家被害								被害認定 進捗状況	非住家被害 公共施設 +その他 棟
	死者	行方 不明	重軽傷者	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊			
単位	人	人	人	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯		
新潟市			9			1	1			63	63		20
長岡市			243	10	12	25	25	432	432	5,986	5,986		2,176
三条市			32					1	1	114	114		1
柏崎市	14		1,664	1,120	1,120	676	676	3,888	3,888	22,661	22,661		24,323
小千谷市			40							246	246		69
十日町市			8	1	1			14	16	224	264		114
燕市			10	2	2	1	1	12	12	863	863		208
妙高市			0					2	2	33	34		12
上越市			158	14	15	1	1	62	68	2,687	2,686		1,746
魚沼市			6							7	7		20
南魚沼市			4							17	17		6
出雲崎町			10	17	17	16	16	115	115	1,383	1,390		326
川口町								1	1	8	8		
刈羽村	1		116	166	166	136	136	305	305	654	654		2,228
加茂市			0										7
湯沢町			1										
見附市			14							497	497		75
佐渡市			0										1
阿賀野市			0							1	1		1
糸魚川市			1							6	6		7

※ 数値については速報値であり、今後変更される可能性があります。

※ 被災者については、被災地別で計上（例：A町の住民がB町において被災及び発症した場合、B町における計上とする。）
（新潟県ホームページより）